

記入例

ご記入いただいた内容を基に審査いたします。
できる限り具体的かつ詳細にご記入ください。

長期休暇中の子どもの居場所づくり補助事業補助金 事業（変更）計画書

申請団体	団体名	こども応援実行委員会		
	団体所在地	〒143-0024 大田区蒲田 5-13-14		
	代表者名	蒲田 太郎		
	電話番号	03-5744-1244		
	担当者名 電話番号 Email	蒲田 太郎 03-5744-1244 Kodomo-ouen@city.ota.tokyo.jp		
	団体名簿	別紙のとおり		
	申請回数	初回 ・ 2回目 ・ 3回目		

事業名	夏休みのこども応援プロジェクト			
開催日・日数	8/3.8/10.8/17.8/24 4回			
主な担い手	〇〇団体ボランティア 〇〇大学ボランティア			
対象者	〇〇地域周辺に在住の小・中学生			
参加者負担	こども 100円・その他 円			
実施場所	(施設名) 〇〇地域集会所 (住 所) 大田区蒲田 5-13-14			
ボランティア等に関する保険の加入状況	活動保険			
	行事用保険	社会福祉協議会行事保険		
	その他			
保健所に対する手続	所管保健所名	大田区保健所	手続の種別	指導・届出・許可・その他
	手続内容	食事の提供開始届を提出。		

実施目的	夏休みの期間中、学びの機会の格差を防ぎ、家にも誰もいないといった子ども達が孤独・孤立にならないよう、人とのつながりを実感できる子どもたちの居場所をつくる。また、給食が無いことにより十分な栄養が摂取出来ない子ども達に食の支援をする。
実施により見込める効果	・子ども達の夏季休暇中の学習習慣の定着 ・居場所の提供による子どもの孤立・孤独防止 ・子ども達の孤食の改善、十分な栄養の摂取。
取り組みの内容を可能な限定的に記してください。	■概要 中学生までの子どもを対象に学習支援、居場所の提供、昼食の提供を実施する。夏季休暇中に4回実施し、利用者同士、ボランティア同士の交流を図る。 ①学習支援では、大学生のボランティアが子どもの宿題のサポート、授業準備の手助けを行う。また、自由研究のサポートとして、以下のワークショップを行う。 ・「保冷剤で芳香剤をつくろう！」 ・「石鹸づくり」 ②高齢者のボランティアさんから昔の遊びについて、教えてもらい、利用者、ボランティアさん全員で楽しめる企画を実施する昼食には、近くの子ども食堂と連携して、お弁当の提供をしてもらい、ボランティアや子ども達と一緒に食事を行う。
実施内容	■スケジュール（案） 8/3・8/17 10 時～16 時 10 時～12 時：学習時間（学生ボランティアのサポート） 12 時～13 時：昼食時間（子ども食堂より提供していただく） 13 時～16 時：自由研究「保冷剤で芳香剤を作ろう！」（8/3 実施） 「石鹸づくり」（8/17 実施） 自由研究を希望しない子は学習時間又は自由時間 16 時：解散
※詳細に記入すること。 ※変更申請の場合は、変更した内容を明記すること。 ※書ききれない場合は、別紙（任意様式）でも可。	8/10・8/24 10 時～15 時 10 時～12 時：学習時間（学生ボランティアのサポート） 12 時～13 時：昼食時間（子ども食堂より提供していただく） 13 時～15 時：「昔遊びをしよう！！」「昔のお話を聞こう！」（8/10・8/24 実施） 15 時：解散
一定の場合は、大まかな予定構いません。	■参加予定人数 小学生、中学生 32 人程度（各回8人）
実施に当たっての工夫	■特徴的な取り組み ・自由研究のサポートとして、ワークショップを行うことで、子ども達の体験・経験の機会につなげる ・大学生のボランティアに参加してもらうことにより、子ども達の身近な存在として、子どもの悩み、困りごとに寄り添うことが出来る。 ・高齢者からお話を聞くことや昔遊びをすることにより、多世代交流を図る

	■継続的な取組みにしていくための方策等 この取組をきっかけに、今後冬休みや春休みなど子どもの長期休暇に合わせて定期的に居場所づくりを行っていく。 大学生や高齢者の方など地域のボランティアに参加してもらうことをきっかけに、地域のつながりを広げていく。
周知方法	チラシの配布、SNSでの周知（ホームページ、Twitter）
事故等に備えた緊急対応方策	子ども達から申請をしてもらうときに、保護者の連絡先等を提出してもらい、緊急時に連絡をとれるようにしておく。